This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT.
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2000011051 A

(43) Date of publication of application: 14.01.00

(51) Int. CI

G06F 17/60 G07B 13/00 G07B 15/00 G07G 1/12

(21) Application number: 10189618

(22) Date of filing: 22.06.98

(71) Applicant:

SEIKO INSTRUMENTS INC

(72) Inventor:

FUJIOKA HIDENORI HAGINO TORU MURATA KENJI WADA KATSUHIKO HATANO MASAYUKI TACHIBANA HITOSHI

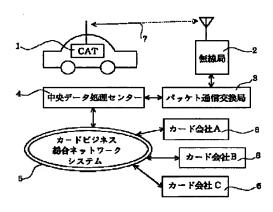
(54) CREDIT CARD CERTIFICATION SYSTEM AND MOBILE CREDIT CERTIFICATION TERMINAL

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a credit card certification system capable of executing certification processing on an on-line or an off-line (outside the service area of a radio communication network) by using a mobile credit card certification terminal to be used by loading it on a taxicab or the like.

SOLUTION: The mobile credit card certification terminal 1 is connected to a central data processing center 4 through a packet communication system public radio communication network (a radio station 2 and a packet communication switching center 3) and a host computer in each credit card company 6 is allowed to access the center 4 on the on-line through a card business integrated network system 5. The terminal 1 is provided with a function for receiving invalid card information from the center 4 through the public radio communication network, storing the received information and deciding whether a credit card required to be certified is an invalid card or not based on the stored invalid card information.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2000-11051~ (P2000-11051A)

(43)公開日 平成12年1月14日(2000.1.14)

(51) Int.Cl.7		酸別記号	FΙ			テーマコード(参考)
G06F	17/60		G 0 6 F	15/21	340D	3 E 0 2 7
G07B	13/00		G 0 7 B	13/00	L	3 E 0 4 2
	15/00			15/00	T	5B049
G 0 7 G	1/12	3 2 1	G 0 7 G	1/12	3 2 1 P	

審査請求 有 請求項の数5 FD (全 10 頁)

(21)出願番号	特顧平10-189618	(71)出願人	000002325		
(22)出顧日	平成10年6月22日(1998.6.22)		セイコーインスツルメンツ株式会社 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目8番地		
		(72)発明者	藤岡秀則		
			千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目8番 セイ コーインスツルメンツ株式会社内		
	•	(72)発明者	萩野 徹		
			千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目8番 セイ		
		(74)代理人	コーインスツルメンツ株式会社内 100079212		
			弁理士 松下 義治		

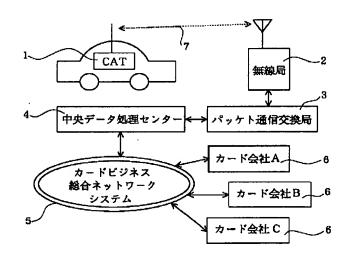
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 クレジットカード認証システム及び移動可能なクレジットカード認証端末

(57) 【要約】

【課題】 タクシー等に搭載して使用される移動可能なクレジットカード認証端末でオンラインまたはオフライン (無線通信網のサービスエリア外) で認証処理ができるようにしたクレジットカード認証システムを提供すること。

【解決手段】 移動可能なクレジットカード認証端末1をパケット通信方式の公衆無線通信網(無線局2,パケット通信交換局3)によって中央データ処理センター4をカードビジネス総合ネットワークシステム5を介して各クレジットカード会社6のホストコンピュータにオンラインでアクセスさせるようにした。また、前記移動可能なクレジットカード認証端末1に、無効カード情報をパケット通信方式の公衆無線通信網によって中央データ処理センター4から受信して記憶し、この記憶した無効カードか否かを判定する機能を具備させた。



【特許請求の範囲】

【請求項1】多数の移動可能なクレジットカード認証端末をパケット通信方式の公衆無線通信網によって中央データ処理センターに接続し、且つこの中央データ処理センターをカードビジネス総合ネットワークシステムを介して各クレジットカード会社のホストコンピュータにオンラインでアクセスさせることによって、前記移動可能なクレジットカード認証端末でオンライン認証処理を行なえるようにしたクレジットカード認証システム。

【請求項2】前記移動可能なクレジットカード認証端末に、無効カード情報をパケット通信方式の公衆無線通信網によって中央データ処理センターから受信して記憶し、この記憶した無効カード情報に基づいて要認証クレジットカードが無効カードか否かを判定する機能を具備させることによって、前記移動可能なクレジットカード認証端末でオフライン認証処理も行なえるようにした請求項1のクレジットカード認証システム。

【請求項3】データ通信可能状態に保持されている移動可能なクレジットカード認証端末と中央データ処理センター間の回線が電波状態不良によって切断された場合は、電波状態が良好に回復した後の最初の認証処理で前記回線をデータ通信可能状態に復帰させるようにした請求項1のクレジットカード認証システム。

【請求項4】要認証クレジットカードのカード情報を読み取るカード情報読取手段、前記カード情報を前記中央データ処理センターに送信し且つ前記中央データ処理センターから認証結果情報を受信するパケット通信用送受信手段、及び各クレジットカード会社のホストコンピュータの認証結果を表示する表示手段とを有し、クレジットカードの認証処理をオンラインで行なえるようにした請求項1のクレジットカード認証システム用の移動可能なクレジットカード認証端末。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は多数のクレジットカード認証端末(以下、必要に応じてCATと略配する)

が公衆無線通信網によって接続された中央データ処理センターを、カードビジネス総合ネットワークシステムを介して各クレジットカード会社のホストコンピュータにアクセスさせるようにしたクレジットカード認証システム用の移動可能なクレジットカード認証端末に関する。

[0002]

【従来の技術】クレジットカード加盟店とクレジットカード会社を接続し、クレジットカードの認証や売り上げ処理を迅速且つ安価に行なうカードビジネス総合ネットワークシステムは、エヌ・ティ・ディ・データ通信株式会社のCAFISが代表的なものである。各クレジットカード加盟店には1台又は複数台のCATが設置されており、各CATは公衆有線電話網を介してCAFISの如きカードビジネス総合ネットワークシステムに接続加盟店の中央データ処理センターに専用通信ケーブルを介して接続され、このホストコンピュータがカードビジネス総合ネットワークシステムに接続されている。

【0003】クレジットカードの利便性は数万円以下の比較的少額の支払を迅速且つ簡単に行なえることである。この利便性に鑑みれば、クレジットカードはタクシー料金の支払には最適なものである。しかしながら、殆どのタクシーにはCATが設置されていないのが現状である。それでもタクシーでクレジットカードを使えるようにした認証システムは、いくつか提案されている。即ち、特許第2739094号公報に開示されたタクシーにおけるクレジットカード利用管理システム及びその運用方法の一部として、また特開平10-111961号公報に開示されたタクシー料金精算装置の一部としてそれぞれ提案されている。

【0004】第1の従来例の特許第2739094号公 報に開示されているのは、無効クレジットカードのカー ド番号情報である無効カード情報を書換え可能に記憶す る無効カード情報記憶部等を有するICカードと、前記 ICカードの無効カード情報記憶部から無効カード情報 を直接又は間接的に読み取る読取部、信用照会を要する クレジットカード即ち要認証クレジットカードの種別及 び番号を読み取るカードリーダー、前記カードリーダー によって読み取られたクレジットカード番号の整合性を 検証するとともにクレジットカード番号を前記読取部に よって読み取られた無効カード情報と照合して要認証ク レジットカードが無効クレジットカードであるか否かを 判定する判定部を有する車載用CATと、無効クレジッ トカードの無効カード情報を蓄積した無効カード情報記 憶部、当該無効カード情報記憶部から読み出した無効カ ード情報をICカードの無効カード情報記憶部に書き込 む書込部等を有するタクシー会社の営業所に設置される データ管理用コンピュータとよりなるタクシーにおける クレジットカード利用管理システムである。

【0005】このクレジットカード利用管理システムにおけるクレジットカードの認証及び売上処理は、オフラインで行われている。要認証クレジットカードが無効カードか否かを照合される無効カード情報は最新のデータではなく、その車截用CATの無効カード情報記憶部に予め記憶されたデータである。車載用CATの無効カード情報記憶部への無効カード情報の入力及び更新には、専用ICカードが用いられている。この専用ICカードには無効カード情報記憶部の他に、1日の営業時間内において利用されたクレジットカードの種別、番号及び利用金額等の情報も記憶する取引情報記憶部が設けられている。

【0006】タクシー運転手は、営業所に設置されたデ ータ管理用コンピュータによって毎日更新された無効力 一ド情報が蓄積された専用ICカードを、運行前に車載 用CATに装着し、その無効カード情報記憶部に記憶さ れているデータの更新を行わなければならない。1日の 運行終了後には、専用ICカードをタクシー運転手は営 業所に届けなければならない。そして営業所では、デー 夕管理用コンピュータに専用ICカードを介して各タク シーの1日の営業時間内において利用されたクレジット カードの種別、番号及び利用金額等の取引情報が入力さ れると共に、各専用ICカードに記憶されている無効力 ード情報が更新される。データ管理用コンピュータはC AFIS等のカードビジネス総合ネットワークシステム を介して各クレジットカード会社のホストコンピュータ にアクセスさせられている。従ってタクシー利用者が利 用したクレジットカードの取引情報は、各クレジットカ ード会社のホストコンピュータに入力され、所定のデー タ処理が行われる。無効カード情報は、データ管理用コ ンピュータからの要求により、各クレジットカード会社 のホストコンピュータからカードビジネス総合ネットワ ークシステムを介して受信され、データ管理用コンピュ 一夕の無効カード情報記憶部のデータを更新する。

【0007】上述のタクシーにおけるクレジットカード利用管理システムは、タクシーの運行前と1日の運行終了後に専用ICカードを用いてデータの授受を人手により行わなければならないので、作業が煩わしという問題を有する。セキュリティを確保するために専用ICカードには暗証番号が秘匿あるいは暗号化された状態で登録されなければならないから、これも面倒であるだけでなく、専用ICカードのコストアップにもつながるという問題がある。何よりもオフラインで認証を行なうシステムであるために、最新の無効カード情報を利用できないという根本的な問題がある。なお、上記と同様に、オフラインで認証を行なうシステムは特開昭61-248185号公報にも開示されている。

【0008】第2の従来例の特開平10-111961 号公報に開示されたタクシー料金精算装置の一部として 提案されているクレジットカード認証システムは、車載のタクシー料金精算装置に情報通信部を設け、タクシー会社の基地局との間で清算処理に係る情報や課金処理に係る情報の授受をタクシー無線の特定チャネル或いは携帯電話の通信網を介して行なうとともに、クレジットカードの認証もカード情報に従って前記基地局との間い合わせ処理を実行して行なうものである。なお、特開平5-128118号公報にはIDカードを用いてタクシーの利用料金の金融機関からの自動引き落としを行なう移動局情報伝送方式が開示されているが、IDカードの認証の仕方についての開示はない。

【0009】上記第2の従来例は第1の従来例が有するいくつもの問題を解決するものである。しかしながら、車載のタクシー料金精算装置とタクシー会社の基地局との間で清算処理に係る情報や課金処理に係る情報の授受をタクシー無線の特定チャネル或いは携帯電話の通信網を介して行なうものであるため、無線通信網のサービスエリア外ではCATが使えないという問題があった。又、携帯電話の通信網に保留時間課金制の公衆無線電話を用いた場合には、利用料金が非常に高くなるという問題があった。更に、この従来の無線通信網を用いたクレジットカード認証システムにおいては、通信が傍受されて機密情報が漏洩するという問題があった。

[0010]

【発明が解決しようとする課題】解決しようとする第1の課題は、タクシー等に搭載して使用される移動可能なクレジットカード認証端末でオンライン認証処理ができる無線通信網を用いたクレジットカード認証システムを提供することである。

【0011】解決しようとする第2の課題は、無線通信網を用いたクレジットカード認証システムにおいて、無線通信網のサービスエリア外では移動可能なクレジットカード認証端末でオフライン認証処理ができるようにすることである。

【0012】解決しようとする第3の課題は、無線通信網を用いたクレジットカード認証システムにおいて、無線通信網の利用料金を節減することである。

【0013】解決しようとする第4の課題は、無線通信網を用いたクレジットカード認証システムにおいて用いられるクレジットカード認証端末であって、オンライン認証処理又はオフライン認証処理に適した移動可能なクレジットカード認証端末を提供することである。

[0014]

【課題を解決するための手段】上記第1の課題を解決するために、多数の移動可能なクレジットカード認証端末をパケット通信方式の公衆無線通信網によって中央データ処理センターに接続し、且つこの中央データ処理センターをカードビジネス総合ネットワークシステムを介して各クレジットカード会社のホストコンピュータにオンラインでアクセスさせるようにして、無線通信網を用い

たクレジットカード認証システムを構築した。

【0015】上記第2の課題を解決するために、前記移動可能なクレジットカード認証端末に無効カード情報をパケット通信方式の公衆無線通信網によって中央データ処理センターから受信して記憶し、この記憶した無効カード情報に基づいて要認証クレジットカードが無効カードか否かを判定する機能を具備させた。

【0016】上記第3の課題を解決するために、データ 通信可能状態に保持されている移動可能なクレジットカ ード認証端末と中央データ処理センター間の回線が電波 状態不良によって切断された場合は、電波状態が良好に 回復した後の最初の認証処理で前記回線をデータ通信可 能状態に復帰させるようにした。

【0017】上記第4の課題を解決するために、移動可能なクレジットカード認証端末を、少なくとも要認証クレジットカードのカード情報を読み取るカード情報読取手段、前記カード情報を前記中央データ処理センターに送信し且つ前記中央データ処理センターから認証結果情報を受信する送受信手段、及び各クレジットカード会社のホストコンピュータの認証結果を表示する表示手段とで構成した。

【0018】同じく上記第4の課題を解決するために、移動可能なクレジットカード認証端末を、少なくとも要認証クレジットカードのカード情報を読み取るカード情報・前記カード情報を前記中央データ処理センターから認証結果情報及び無効カード情報を受信する送受信手段、前記カード情報を記憶する無効カード情報記憶手段、前記カード情報を前記無効カード情報記憶手段から読み出した無効カード情報と照合して要認証クレジットカードが無効カードか否かを判定する無効判定手段、及び各クレジットカード会社のホストコンピュータの認証結果又は前記無効判定手段の判定結果を表示する表示手段とで構成した。

[0019]

【発明の実施の形態】本発明に係る無線通信網を用いた クレジットカード認証システムの一実施例は、図1に示す如く、タクシーに搭載された移動可能なクレジットカード認証端末1、無線中継局2、パケット通信交換局3、中央データ処理センター4、CAFISの如きカードビジネス総合ネットワークシステム5、及びクレジットカード会社6を含むシステムである。

【0020】クレジットカード認証端末1はパケット通信用送受信手段を備えており、無線中継局2との間は無線伝送路7によって接続されている。無線中継局2とパケット通信交換局3との間、及びパケット通信交換局3と中央データ処理センター4との間はそれぞれ有線で接続されている。無線中継局2とパケット通信交換局3はパケット通信方式の公衆無線通信網の一部を構成するものである。このパケット通信方式の公衆無線通信網によ

って、多数の移動可能なクレジットカード認証端末1が 中央データ処理センター4に接続されている。中央データ処理センター4に接続されている。中央デークシステム5を介して各クレジットカード会社6のホス、カードビジネス総合ネットワークシステム5に接続されている。中央データ処理センター4は、クレジットカード記端末1の数及びデータ量等に対応した処理能力をであるコンピュータとカードビジネス総合ネットラーのパケット通信用送受信部、及びこのコンピュータとカードビジネス総合ネットワーシステム5とを接続するためのデータ通信用送受信部のコンピュータとカードビジネス総合ネットワシステム5とを接続するためのデータ通信用送受に部をひなくとも含み、いわば多数の移動可能なクレジットのである。

【0021】本発明に係る移動可能なクレジットカード 認証端末1は、例えば図2の如く、データの処理を行う マイクロプロセッサ11、プログラムやデータを記憶す るメモリ12、要認証クレジットカードのカード情報を 読み取るカード情報読取手段であるカードリーダー1 3、タクシー料金や支払方法などの情報を入力するため のキーボード14、パケット通信方式の公衆無線通信網 と接続するためのパケット通信用送受信機15、認証結 果等を表示する表示手段である表示器16、領収書等の 印刷を行なうプリンタ17、これらの構成要素に電力を 供給する電池及び電源回路18とで構成されている。メ モリ12はリードオンリーメモリROMとランダムアク セスメモリRAMおよびフラッシュメモリから成る。ク レジットカード認証端末1でオフライン認証処理を行う 場合に用いられる無効カード情報は、メモリ12のフラ ッシュメモリに記憶される。

【0022】以下、図1のパケット通信方式の公衆無線通信網を用いたタクシー用のクレジットカード認証システムにおいて、移動可能なクレジットカード認証端末1で行なわれる3種類の認証処理、即ちオンライン認証処理、オフライン認証処理及びオフライン先行型認証処理を図3ないし図5のフローチャートを参照して順に説明する。

【0023】先ず、移動可能なクレジットカード認証端末1におけるオンライン認証処理は、公衆無線通信網のサービスエリア内で、例えば図3の如きフローチャ金に従って行われる。タクシーの乗客がタクシー料金の支払いに使用したいクレジットカード、即ち要認証クレジットカードがクレジットカード認証端末1の所定の挿入口に挿入されると、カードリーダー13は種別や番号のカード情報を読み取りマイクロプロセッサ11に送受信機15とによってパケット通信の形態に変換され、送受信機15から無線中継局2とパケット通信交換局3を経て中央データ処理センター4へ送

信される(102)。中央データ処理センター4は、カードビジネス総合ネットワークシステム5を介して各クレジットカード会社6のホストコンピュータにオンラインでアクセスし、要認証クレジットカードが無効カードか否かの認証結果情報を入手する。そして、中央データ処理センター4は、認証結果情報をパケット通信交換局3と無線中継局2とを経て、クレジットカード認証端末1に送信する。

【0024】クレジットカード認証端末1は認証結果情 報を受信するまで待機し(103)、受信したら認証結 果情報を解読し要認証クレジットカードが無効カードか 否かを判断する(104)。無効カードであると判断し た場合には表示器16にその旨を表示させ(107)、 無効カードでないと判断した場合にはタクシー料金支払 のための処理に移行する。タクシー料金支払のための処 理は、キーボード14によるタクシー料金の金額と支払 方法の入力(105)と、入力された情報に基づいて行 われる料金支払処理(106)である。料金支払処理 (106)は、プリンタ17に領収費を印刷させる処 理、領収書に記載した金額と支払方法等の支払情報を中 央データ処理センター4に送信する処理を含む。無効力 ードである旨の表示、又は料金支払処理が終わると、移 動可能なクレジットカード認証端末1におけるオンライ ン認証処理は終了する(108)。これらの一連の処理 は、所定のプログラムに従ってマイクロプロセッサが命 令を実行することによって、行われる。

【0025】公衆無線通信網のサービスエリア外においては、上記図3の如きオンライン認証処理は実行できない。このような場合、移動可能なクレジットカード認証端末1におけるオフライン認証処理は、例えば図4の如きフローチャートに従って行われる。即ち、要認証クレジットカードがクレジットカード認証端末1の所定の挿入口に挿入されると、カードリーダー13は種別や番号等のカード情報を読み取りマイクロプロセッサ11はメモリ12から無効カード情報を読み出し(202)、この無効カード情報とカードリーダー13で読み出されたカード情報とを照合して要認証クレジットカードが無効カードか否かを判定する(203)。

【0026】マイクロプロセッサ11は、無効カードであると判定した場合には表示器16にその旨を表示させ(206)、無効カードでないと判定した場合にはタクシー料金支払のための処理に移行する。タクシー料金支払のための処理は、キーボード14によるタクシー料金の金額と支払方法の入力(204)と、入力された情報に基づいてプリンタ17に領収書を印刷させる等の料金支払処理(205)である。無効カードである旨の表示、又は料金支払処理が終わると、移動可能なクレジットカード認証端末1におけるオフライン認証処理は終了する(207)。なお、メモリ12に記憶されている無

効カード情報は、中央データ処理センター4が各クレジットカード会社のホストコンピュータに定期的にアクセスして入手し記憶しているものを、クレジットカード認証端末1からの送信要求に基づいて中央データ処理センター4が読み出し、パケット通信交換局3と無線中継局2を含む公衆無線通信網によってクレジットカード認証端末1に送信してきたものある。無効カード情報の送信要求と受信、及びメモリ12への記憶は、タクシーの運行開始時に行われる。

【0027】本発明に係る図4の如きオフライン認証処 理を実行できる機能を備えた移動可能なクレジットカー ド認証端末1は、公衆無線通信網のサービスエリア内に おいて、公衆無線通信網の利用料金を節減できる使い方 が可能である。これは、オンライン認証処理に先行して オフライン認証処理を実行させる方法である。このオフ ライン先行型認証処理においては、クレジットカード認 証端末1は例えば図5の如く、先ずカードデータの読み 取り(301)、無効カード情報の読み出し(30 2)、無効カードか否かの判定(303)という一連の 処理、即ち図4のオフライン認証処理のステップ201 から203までと同一の処理を実行する。次に、ステッ プ303で無効カードでないと判定した場合には、ステ ップ304から308までのオンライン認証処理、即ち 図3のステップ102からステップ106までと同一の 処理を実行する。

【0028】ステップ303で無効カードであると判定 した場合には、その旨を表示器16に表示させる(30 9)。また、オフライン認証処理では無効カードではな いと判定された要認証クレジットカードが、その後に実 行されたステップ304から306までのオンライン認 証処理において無効カードであると判断された場合に も、表示器16にはその旨が表示される(309)。無 効カードである旨の表示、又は料金支払処理が終わる と、移動可能なクレジットカード認証端末1におけるオ フライン先行型認証処理は終了する(310)。或デー タによれば、クレジットカード認証端末1における認証 処理で無効カードであると判定されたクレジットカード の割合は約10パーセントということである。そうであ れば、本発明に係るパケット通信方式の公衆無線通信網 を用いたクレジットカード認証システムにおいて、オン ライン認証処理に先行してオフライン認証処理を実行す れば、オンライン認証処理を行う要認証クレジットカー ドの数を約10パーセント減らすことができるのであ る。換言すれば、パケット通信方式の公衆無線通信網に よって送信される情報量が約10パーセント減少するの である。従って、情報量課金制であるパケット通信方式 の公衆無線通信網の利用料金が、その分だけ節減でき

【0029】次に、データ通信可能状態に保持されている移動可能なクレジットカード認証端末と中央データ処

理センター間の回線が電波状態不良によって切断された 場合は、電波状態が良好に回復した後の最初の認証処理 で前記回線をデータ通信可能状態に復帰させるようにし た本発明に係るクレジットカード認証システムの作用を 説明する。図6は公衆無線通信網のサービスエリア内で の電波状態の時間的変化と本発明における情報の伝送と の関係を示したものであり、具体的には公衆無線通信網 のサービスエリア内で営業しているタクシーが、電波状 態の良好な場所と不良な場所を通過した場合に、搭載し ているクレジットカード認証端末1とパケット通信方式 の公衆無線通信網との間で授受される情報の発生時点と 頻度がどのようなものかを2つの例で示した図である。 図6において、中段に示す伝送例1はクレジットカード 認証端末1とパケット通信方式の公衆無線通信網との間 を通常の方法で接続した場合、下段に示す伝送例2はク レジットカード認証端末1とパケット通信方式の公衆無 線通信網との間を本発明に係る方法で接続した場合のも のである。

【0030】通常の方法で接続した場合の伝送例1にお いては、電波状態良好のときに第1回目のオンライン認 証処理が開始されると、回線接続制御用情報Sがクレジ ットカード認証端末1から発信されて回線接続制御が行 われ、中央データ処理センター4との間の回線をデータ 通信可能な状態にする。次いでオンライン認証のための カード情報Dが、データ通信可能な状態の回線に発信さ れる。オンライン認証のためのカード情報Dの発信が終 了しても、電波状態が良好であれば、回線はデータ通信 可能な状態(斜線で示した部分)に保持されている。タ クシーがトンネルに入って電波状態が不良になると、回 線は切断されてデータ通信可能な状態は保持されなくな る。タクシーがトンネルを出て電波状態が良好になる と、クレジットカード認証端末1は回線接続制御用情報 Sを発信し、回線はデータ通信可能な状態に復帰する。 タクシーがビルの地下に入って電波状態が不良になれ ば、回線は切断される。タクシーが地上に出てきて電波 状態が良好になれば、クレジットカード認証端末1は回 線接続制御用情報Sを発信し、回線はデータ通信可能な 状態に復帰する。この状態で第2回目のオンライン認証 処理が開始されると、オンライン認証のためにカード情 報口が発信される。その後、電波状態が良好であれば、 回線はデータ通信可能な状態に保持されている。

【0031】本発明に係る接続方法による伝送例2においては、電波状態良好のときに第1回目のオンライン認証処理が開始されると、回線接続制御用情報Sがクレジットカード認証端末1から発信されて回線接続制御が行われ、中央データ処理センター4との間の回線をデータ通信可能な状態にする。次いでオンライン認証のためのカード情報Dが、データ通信可能な状態の回線に発信される。オンライン認証のためのカード情報Dの発信が終了しても、電波状態が良好であれば、回線はデータ通信

可能な状態に保持されている。タクシーがトンネルに入って電波状態が不良になると、回線は切断されてデータ通信可能な状態は保持されなくなる。タクシーがトンネルを出て電波状態が良好になっても、回線は切断されたままである。従って、その後にタクシーがピルの地でルスって電波状態が不良になっても、またタクシーが地上に出てきても回線は切断されたままである。このように出てきても回線は切断されたままである。このように出てきても回線は対断されたままであるときレジットカード認証端末1は回線接続制御用情報Sを発信し、回線はデータ通信可能な状態に復帰する。次いでれる。その後、電波状態が良好であれば、回線はデータ通信可能な状態に保持される。

【0032】ここで情報発信の回数を比較すると、伝送例1では回線接続制御用情報Sが3回とオンライン認証のためのカード情報Dが2回の計5回であるのに対して、伝送例2では回線接続制御用情報Sが2回とオンライン認証のためのカード情報Dが2回の計4回である。本発明に係る接続方法による伝送例2の方が、通常の方法で接続した場合の伝送例1よりも、回線接続制御用情報Sの発信回数が1回少ない。回線の電波状態が不良となって切断された場合は、この回路切断後の最初のオンライン認証処理が開始されるまで、回線を切断状態のまま保持するようにした本発明に係る接続方法における効果である。

【0033】通常の方法で接続した場合の伝送例1においては、回線の電波状態が不良となって切断された場合は、電波状態が不良から良好に移行する度に回線制御用情報Sが必ず発信させられるから、最初の回路切断後の最初のオンライン認証処理が開始されるまでの間に電波状態の変化が何回も繰り返されるような場合には、回線制御用情報Sの発信も何回も繰り返されることになる。本発明に係る接続方法によれば、このような無駄な回線制御用情報Sの発信をしないようにしたので、クレジットカード認証端末から回線に発信される情報量がその分だけ減少した。従って、情報量課金制であるパケット通信方式の公衆無線通信網の利用料金が、その分だけ節減できた。

【0034】データ通信可能状態に保持されている移動可能なクレジットカード認証端末と中央データ処理センター間の回線が電波状態不良によって切断された場合は、電波状態が良好に回復した後の最初の認証処理で前記回線をデータ通信可能状態に復帰させるようにするのは、マイクロプロセッサを有するクレジットカード認証端末1に電波状態が不良となって回線が切断された状態を感知する手段、及びこの回路切断後の最初のオンライン認証処理が開始されるまで回線制御用情報Sの発信を停止する手段を備えさせることによって実現する。

[0035]

【発明の効果】本発明は多数の移動可能なクレジットカード認証端末をパケット通信方式の公衆無線通信網によって中央データ処理センターに接続し、且つこの中央データ処理センターをカードビジネス総合ネットワークシステムを介して各クレジットカード認証端末でオンラインでアクセスさせることによって、前記移動可能なクレジットカード認証端末でオンライン認証処理を行なえるようにしたクレジットカード認証システムと、このシステムされたクレジットカード認証システムと、このシステムと利用してタクシーや配送車において簡単な操作でオンライン認証処理ができる移動可能なクレジットカード認証端末を実現できた。

【0036】また、移動可能なクレジットカード認証端 末にオンライン認証処理ができる機能に加えてオフライ ン認証処理ができる機能を具備させたことによって、公 衆無線通信網のサービスエリア外においてはオフライン 認証処理で対応できるようになった。従って、オンライ ンとオフラインの2つの認証処理機能を具備した移動可 能なクレジットカード認証端末を搭載したタクシーにお いては、クレジットカードが全国的に使えるようになっ た。この場合、オフライン認証処理に用いる無効カード 情報は中央データ処理センターから無線通信網によって 送信されてきたものをクレジットカード認証端末が受信 してそのメモリに記憶したものであるので、ICカード 等の記憶媒体を用いてメモリに記憶させた無効カード情 報を用いた従来のオフライン認証システムに比べると、 最新の無効カード情報が使えるので信頼性が向上し、し かも取り扱いが容易になった。

【0037】更に、移動可能なクレジットカード認証端末と中央データ処理センターとの間をパケット通信方式の公衆無線通信網によって接続したクレジットカード認証システムおいて、回線が電波状態不良の発生によって切断された場合は、電波状態不良が除去された後の最初の認証処理で前記回線をデータ通信可能状態に復帰させるようにして、電波状態の変化が繰り返される度に回線接続制御用情報を発信することをなくしたので公衆無線通信網の利用料金をその分だけ節減できた。

【0038】本発明においてはクレジットカード認証端末と中央データ処理センター間を情報を圧縮してパケッ

ト通信方式の公衆無線通信網で伝送させることもできる し、またオンライン認証処理とオフライン認証処理の双 方が可能な本発明に係るクレジットカード認証端末にお いては、オンライン認証処理に先だって必ずオフライン 認証処理を行うようにすればオンライン認証処理のため に送受信される情報量をかなり減らすこともでき、これ らによっても公衆無線通信網の利用料金を節減すること が可能となった。

【図面の簡単な説明】

【図1】無線通信網を用いたクレジットカード認証システムの一実施例の構成図である。

【図2】移動可能なクレジットカード認証端末の一実施 例の構成図である。

【図3】オンライン認証処理の一実施例のフローチャートである。

【図4】オフライン認証処理の一実施例のフローチャートである。

【図 5 】オンライン認証処理に先行してオフライン認証 処理を行うオフライン先行型認証処理の一実施例のフロ ーチャートである。

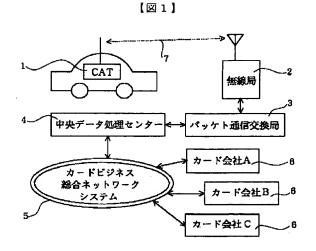
【図6】電波状態が時間的に繰り返し変化する場合における回線接続制御用情報Sとオンライン認証用情報Dのクレジットカード認証端末から回線への発信状況を2つの伝送例で示した図である。

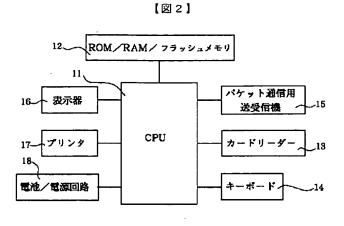
【符号の説明】

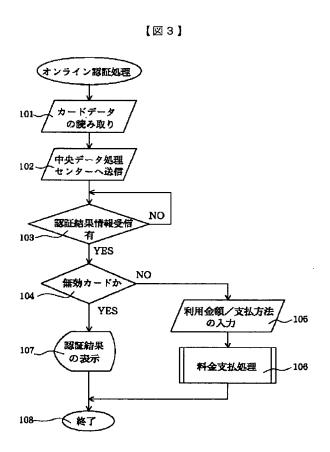
- 1 移動可能なクレジットカード認証端末
- 2 無線中継局
- 3 パケット通信交換局
- 4 中央データ処理センター
- 5 カードビジネス総合ネットワークシステム
- 6 カード会社
- 7 無線伝送路
- 11 マイクロプロセッサ
- 12 メモリ
- 13 カードリーダー
- 14 キーボード
- 15 パケット通信用送受信機
- 16 表示器
- . 17 プリンタ
 - 18 電池/電源回路

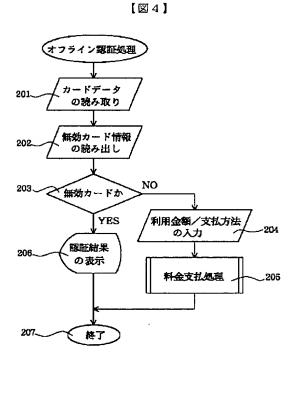
【図6】

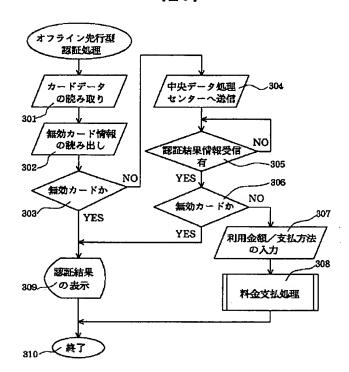
電波状態	良好	不良	良好	不良	良好
伝送例1	s D ////		s		s D
伝送例2	s D				S D











【手続補正書】

【提出日】平成11年7月30日(1999.7.3 0)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項2】 多数の移動可能なクレジットカード認証 端末をパケット通信方式の公衆無線通信網によって中央 データ処理センターに接続し、且つこの中央データ処理 センターをカードビジネス総合ネットワークシステムを 介して各クレジットカード会社のホストコンピュータに オンラインでアクセスさせることによって、前記移動可 能なクレジットカード認証端末でオンライン認証処理を 行えるようにしたクレジットカード認証システムにおい て、前記移動可能なクレジットカード認証端末に、無効 カード情報をパケット通信方式の公衆無線通信網によっ て前記中央データ処理センターから受信して記憶し、こ の記憶した無効カード情報に基づいて要認証クレジット カードか無効カードか否かを判定する機能を具備させる ことによって、前記移動可能なクレジットカード認証端 末でオフライン認証処理も行えるようにしたクレジット カード認証システム。

【手続補正2】

【補正対象曹類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正內容】

【請求項3】 多数の移動可能なクレジットカード認証 端末をパケット通信方式の公衆無線通信網によって中央 データ処理センターに接続し、且つこの中央データ処理 センターをカードビジネス総合ネットワークシステムを 介して各クレジットカード会社のホストコンピュータに オンラインでアクセスさせることによって、前記移動可 能なクレジットカード認証端末でオンライン認証処理を 行えるようにしたクレジットカード認証システムにおい て、電波状態が不良になって回線が切断されたことを感 知する手段及びこの回路切断後の最初のオンライン認証 処理が開始されるまで回線制御情報の発信を停止する手 段とを移動可能なクレジットカード認証端末に具備させ ることによって、データ通信可能状態に保持されている 移動可能なクレジットカード認証端末と中央データ処理 センター間の回線が電波状態不良によって切断された場 合は、電波状態が良好に回復した後の最初の認証処理で 前記回線をデータ通信可能状態に復帰させるようにした ことを特徴とするクレジットカード認証システム。

フロントページの続き

(72)発明者 村田 憲治

千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目8番 セイ

コーインスツルメンツ株式会社内

(72)発明者 和田 克彦

千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目8番 セイ

コーインスツルメンツ株式会社内

(72) 発明者 波田野 正行

千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目8番 セイ

コーインスツルメンツ株式会社内

(72)発明者 立花 仁

千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目8番 セイ

コーインスツルメンツ株式会社内

Fターム(参考) 3E027 DA05 DA09

3E042 AA05 CC03 CE06 EA01 EA04

5B049 AA01 AA05 BB32 CC39 DD01

DD04 EE24 FF01 FF02 FF07

GG03 GG04 GG07